

農業

大谷中学校 14歳の挑戦

この記事は14歳の挑戦の一環として大谷中学校の生徒が取材をして、記事を書きました。



無農薬の大切さ

十四歳の挑戦二回目。私達は、水見で自然農をされている廣 和仁さんのお話を聞きに行きました。

最初に、無農薬で農業をしている理由を説明してくださいました。「自然を守るためです。」と力強く答えられました。農薬を使うことが異常気象の原因になるそうです。農薬を使うと、それが土に溶け込み、川から海へ流されます。そして、赤道付近の海域にたどり着き、プランクトンが発生し、海水温が上昇して積乱雲が発生し、雨や台風が起こります。これがエルニーニョ現象というものです。廣さんは、温暖化が悪くならない為に農薬を使用せず、自然農を行っています。



ジャガイモの収穫を体験させていただきました。たくさん収穫できたのですが、毒素の強い青いジャガイモや、ネズミにかじられたもの、形が大きい物や小さい物などがありました。貴重な体験をすることができて楽しかったです。

雑草についてもお話を伺いました。「雑草は育てている物の栄養を奪う」というのは間違いです。本当は雑草を増やすことで栄養素を作ってくれるバクテリアという菌が増えます。だから雑草を全部取るのは間違いです。」

他にもスギナという雑草は肥料の主要成分をたくさん含んでいて、土地を豊かにすることが分かりました。廣さんに、「働くとは何ですか?」と質問しました。「地球が与えてくれた自分の役割を果たす。」そう答えられました。「地球のために」という、普通の人が普段は意識しないことを考えながら農業をしている人に出会い、なかなか出来ない体験もさせていただきました。ありがとうございました。



■廣 和仁
1981年6月24日生。
木村秋則氏の提唱する農薬・肥料・除草剤を使用しない「自然栽培」という農法で、米や野菜を栽培している。タネは固定種・在来種にこだわり、自家採取にも取り組んでいる。自然栽培を通して、地球の環境問題やタネの大切さなどの啓蒙活動も行っている。